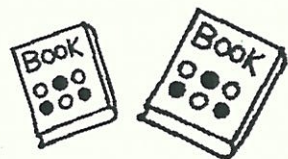


囲碁のこと知ってみたくありませんか？  
囲碁の本、何冊か紹介しま〜す。全部図書館にあるよ！  
このほかにもいろんな本があるからみにきてね。



◎ヒカルの碁 全20巻 完全版 愛蔵版コミックス ほったゆみ／原作 集英社  
知ってる人も多いかも？知らない人は読んでみて！

◎ヒカルの囲碁入門 石倉 昇／著 集英社インターナショナル  
マンガだけじゃないんです。

『ヒカルの碁』を監修されています！

◎プレッシャーに負けない 梅沢 由香里／著 PHP研究所  
読みやすい文章で、囲碁の魅力や棋士の楽しさが伝わってくる本。

第8回コラボまつり(千里文化センターコラボで毎年行われるイベント)  
にあわせて、千里青雲高校図書委員のみなさんと「YAらぼ」メンバーに  
本の紹介POPを作ってもらって展示しました！みんな力作です。



千里青雲高校図書委員作成



「YAらぼ」メンバー作成

豊中市立千里図書館

〒560-0082

豊中市新千里東町1-2-2

豊中市千里文化センター

「コラボ」4階

<http://www.lib.toyonaka.osaka.jp/>

開館時間 火～金 10:00～20:00

土日祝 10:00～17:00

TEL:06-6831-0225

「YAらぼ」メンバー募集中！

\*「YAらぼ」とは\*

千里図書館で活動している、  
中学生～22歳くらいまでの  
メンバーが集まった  
ボランティアグループです。

図書館の仕事に興味がある、  
いろんな人と交流してみたい、  
などきっかけは何でもOK！



表紙イラスト  
箕面高校 3年  
佐々木美菜さん  
編集

「YAらぼ」メンバー  
発行  
豊中市立千里図書館

YA!BOOKS 通信

Vol.15/  
2015.12

●始められたきっかけは何ですか、なぜ囲碁を始めたのですか？  
会社の先輩に教えてもらって知って、しばらくしてませんでした。ボケ防止のために始めました。

●現在、囲碁クラブには何人の方がいて、年齢層としてはどれくらいですか？  
北丘囲碁クラブは30人で平均で60歳くらいです。千里囲碁同好会は200人で平均で70歳くらい。若い人はあまりいません。

「Y Aらば」メンバーがインタビュー！

北丘囲碁クラブの西口さんに、「囲碁」について記事を書いてもらいました。

※西口さんは、図書館と同じ建物「コラボ」で活動中です。

●なぜ盤面は361カ所と広いのですか？  
361は365日(1年)=世の中を表すと言われています。盤にある九つの黒い点は天体(真ん中は天頂・太陽)を表すのではないかと、思われます。

●西口さんにとって囲碁とは？  
生きがい！

●囲碁をしている中で一番嬉しい瞬間は？  
勝ったときの喜びです。野球で例えると2アウトから逆点のセットをしたように嬉しくなります。

●囲碁の魅力を一言で  
脳の活性化！

●囲碁はなぜ手で行う会話と言われているのですか？  
碁もうつと強気で攻めてくる人、大人しい人などの性格が一手でわかります。ちなみに西口さんは大人しい方だそうです。



●教養として琴棋書画の伝統とは？(※2)  
琴→音楽 棋→囲碁 書→書道 画→絵  
君子のたけなみとされており、唐の時代の絵画に様子が残されています。

●どうやって囲碁ができたのですか。また、なぜ今のような今のようなルールになったのですか？  
中国で始まったとされていますが、はっきりとはわかりません。遣唐使が日本へ持ち帰ったとされています。徳川幕府のお城碁や天皇愛用の碁盤があり、日本で発展し、戦後後に日本の景観を受け、中国で推奨されるようになりました。

●囲碁ブームがいつ頃起こったのか？  
「ヒカル碁」が出版された、2010年あたり

●何で中国は体育のスポーツとして囲碁をしているのですか？  
囲碁の選手を育てるために北京オリンピックでは競技の候補にあげられていたもので、囲碁は国家的に世界選手権が行われています。

●大局観(マクロ)を養うとは？  
シロに対してのマクロで、大きく全体を見ることです。囲碁から出た言葉です。他にも布石(最初に準備をすること)、なども囲碁から出た言葉です。

●『源氏物語』には碁の場面がいくつか登場するとありますが、どのような場面で描かれていますか？  
五ヶ所ほどあります。また、同時期の『枕草子』にも出てくるので、宮廷の貴人である女性の教養として描かれています。

●「鶴翼の陣」で碁と通ずる戦略とは？(※1)  
雀鳥が羽を広げるように左右に布陣するもので、武田信玄 v.s 上杉謙信の際、信玄が使った戦略で、相手包囲し「ふくの杖」に陥ります。

囲碁のすすめ -あなたもチャレンジしませんか-  
囲碁部や将棋部のある大学や高校は少なくありませんが、実際に入部して活躍している人はそれほど多くはありません。囲碁は難しいと思われがちですが、ルールは単純で外国人にも理解しやすく、黒石と白石が一所懸命に争って、広く陣地を占めた方が勝ちとなります。相手の石をとり囲めば取ることができ、戦後はその石で敵の陣地を埋めて小さくします。そのほかの基本としては黒と白が交互に碁盤の方眼の交点に打つ(オセロでは方眼の中に置く)などです。  
豊中市立図書館の蔵書にも囲碁入門関連の書がいくつかありますし、インターネット上でもフリーの入門講座が、公民館の講座も開かれています。その前におすすめしたいのがマンガ【ヒカル碁】です。数年前のベストセラーで、テレビアニメでも放映され、囲碁ブームをまきおこしました。いま読んで新鮮で大面白いです。

囲碁のはじまりは古くBC2000年頃古代中国の堯・舜の時代とも言われていますが、河南省博物院には殷時代(BC1700年~)の石製の碁盤と碁石が展示されています。

日本では奈良時代の聖武天皇愛用の碁盤3面と碁石が、正倉院御物として所蔵されており、なかでも螺鈿細工の一面は必見です、機会があればぜひご覧ください。

世界最高の文学書といふべき【源氏物語】には碁の場面がいくつか登場し、国宝【源氏物語絵巻】にも平安貴族の女性が優雅に碁盤をかこむ姿が描かれています。

戦国時代には信玄、信長、秀吉、家康などの武将も碁をたしなみ、その戦略は碁と相通じるものがあり、例えば【鶴翼の陣】(※1)です。

碁には理解力、判断力、決断力が必要で、19路×19路で361カ所もある広い盤面をにらんで、大局観(マクロ)を養うには最適なゲームです。

古代の教養人から現代の経営者、政治家などに至るまで、この観点からも碁をたしなむ方が多く、教養として【琴棋書画】(※2)の伝統がいきづいています。

また、教養、趣味、娯楽の域を離れて、生涯の糧としての碁のプロをめざす人も多く、日本棋院や関西棋院では小学生から中、高生まで沢山の方が学んでおられます。

中国では碁は体育のスポーツのひとつとして国家が少年宮で選手を育成しており、欧米でも普及し、あのアインシュタイン博士は初段ぐらいの実力だったといわれています。国際大会も数多く開かれ、近い将来オリンピックの正式種目になる可能性もあります。

碁は【手談】手で行う会話と言われております。国際親善の場ではイゴ、アタリ、コウなどの日本語が世界共通語となっています。

あなたもグローバルなイゴにチャレンジしませんか。

西口尚三  
(千里公民館 北丘囲碁クラブ)

